

2024年度 宮城教育大学教職大学院1年次成果報告会 進行予定表(2025年2月26日版)

◆2025年2月28日(金)開催

【会場1】

時間帯	SM/現職	プログラム	研究テーマ(発表題目)	司会
9:00~			開会式	香曾我部 琢 吉田剛 渡辺尚
1 9:15~	SM	1	算数科におけるつまづきを生かした授業づくり	
2 9:35~	SM	1	通常学級に在籍する算数に困難さを有している児童の支援のあり方	
3 9:55~	SM	4	教科等横断的な視点を取り入れた家庭科における消費者教育の充実	
4 10:15~	SM	4	ジェンダー平等を目指した家庭科教育の実践と養成に関する研究	
10:35~			休憩	
5 10:45~	SM	2	ジグソー法を用いた中学校理科における授業実践	
6 11:05~	SM	2	中学校理科における深い学びをもたらす理科教材の開発・授業検討	
7 11:25~	SM	2	生態系のつり合いを意識させるための中学生を対象としたカードゲーム教材の開発	
8 11:45~	SM	3	中学校国語科における思考の言語化を目指した指導の在り方についての研究	
9 12:05~	SM	3	生きる力を育む国語科実践研究—協働的な学びを通して生徒の獲得のレジリエンスを高める学習指導の工夫—	
12:25~			昼休み	
10 13:10~	現職	7	協働性が支える個々の学びが実現する多様な児童が学び合う学級	
11 13:30~	SM	7	愛着に問題を抱える児童生徒への支援から考える学級経営の在り方の検討	
12 13:50~	SM	5	中学校社会科公民的分野における経済に関する見方・考え方について	
13 14:10~	SM	5	社会科教育におけるICT活用について	
14:30~			休憩	
14 14:40~	SM	5	問いをもとに発展させる授業作り—多面的・多角的に歴史を考察する力の育成を目指して—	
15 15:00~	SM	2	高校理科学習におけるグラフの作成・読み取り教育の検討	
16 15:20~	SM	2	エラコを用いた生殖の単元の教材開発	
16:00~			閉会行事	

【会場2】

時間帯	SM/現職	プログラム	研究テーマ(発表題目)	司会
9:00~			開会行事	越中康治 久保順也 出口竜作
1 9:15~	SM	3	小学校国語科における批判的思考力を育成するための授業実践—批判的思考を促す発問や活動の検討—	
2 9:35~	SM	3	中学校国語科における「対話型鑑賞」を用いた「非連続型テキスト」の指導方法の開発	
3 9:55~	SM	7	発達障害児が在籍する通常学級における担任教師の周囲児に対する働きかけの検討	
4 10:15~	SM	7	学級経営的視点を意識した教育相談の在り方	
10:35~			休憩	
5 10:45~	SM	3	多様な児童がともに学び合うことが出来るインクルーシブな国語科授業	
6 11:05~	現職	2	生徒が理科の「見方・考え方」を働かせ、探究するための教師の働き掛けの工夫	
7 11:25~	SM	4	美術科における地域資源を活用した表現題材の開発	
8 11:45~	SM	4	実物の提示、実験の実施による教育効果の検証と容易に利用可能な教材の開発	
9 12:05~	SM	2	仙台市天文台と連携した理科学習プログラムの開発・実践	
12:25~			昼休み	
10 13:10~	SM	2	ICT機器を用いた3Dデジタル教材の開発と授業提案	
11 13:30~	現職	1	自分の考えをもち、進んで学ぶ児童を育成する指導の在り方—素朴な考えを価値付ける授業づくりを通して—	
12 13:50~	現職	1	高等学校数学科における数学的な見方・考え方を働かせる授業と教師の役割	
13 14:10~	SM	1	Freudenthal の理論と考察	
14:30~			休憩	
14 14:40~	現職	7	通常学級において強い反抗性を示す児童への指導や協働体制の在り方	
15 15:00~	現職	6	サーバント・リーダーシップによる協働し機能する学校組織づくり	
16 15:20~	現職	6	ウェルビーイングの実現に向けた学校づくり —自立した学習者の育成を通して—	
17 15:40~	現職	6	教科横断的に学ぶふさと教育を中心とした授業の創造—大崎耕土の特色を活かした教材開発と地域連携方法の構築を通して—	
16:00~			閉会行事	

【会場3】

時間帯	SM/現職	プログラム	研究テーマ(発表題目)	司会
9:00~			開会行事	鈴木涉 永井伸幸 本園愛実
1 9:15~	SM	4	小学校体育科における主体的な学びの実現に向けた発問の研究	
2 9:35~	SM	7	ろう重複障害のある児童生徒の卒業後の進路を見据えた学校と関係諸機関との連携の在り方の検討	
3 9:55~	SM	7	聴覚障害児が合理的配慮を求めた意思の表明を行えるようになることを目指した自立活動	
4 10:15~	SM	2	高等学校物理における批判的思考力を育成する授業の実践と改善	
10:35~			休憩	
5 10:45~	SM	3	中学校英語科における「書くこと」の実践—ピア・フィードバックに着目して—	
6 11:05~	現職	3	高等学校英語科におけるICT機器や学習ソフトを活用した指導法と評価法の検討	
7 11:25~	SM	3	高等学校英語科におけるタスクの考えを用いた指導法	
8 11:45~	SM	4	インクルーシブの視点を取り入れた小学校音楽科の授業における支援の在り方	
9 12:05~	SM	4	GIGAスクール環境を踏まえた小学校低学年における情報活用能力育成のための指導計画の検討	
12:25~			昼休み	
10 13:10~	SM	4	個別最適な学びを実現するための ICT を用いた学習の支援	
11 13:30~	現職	4	GIGAスクール環境を生かした自己調整学習の初期指導の在り方の検討	
12 13:50~	SM	4	デザイン分野における生徒の多様な表現を促す学習環境づくりについて—パッケージデザインの題材開発を通して—	
13 14:10~	現職	6	生徒一人一人の望ましいキャリア観の育成に向けた、高等学校におけるキャリア教育の研究	
14:30~			休憩	
14 14:40~	SM	1	数学をつくる学びの実現に向けた研究	
15 15:00~	現職	1	数学的な見方・考え方を働かせる算数授業の在り方	
16 15:20~	SM	4	体育に苦手意識を持つ子どもの授業の在り方に関する実践的研究：合意形成に焦点を当てて	
16:00~			閉会行事	

【会場4】

時間帯	SM/現職	プログラム	研究テーマ(発表題目)	司会
9:00~			開会行事	佐々木孝徳 平真木夫 深澤祐司
1 9:15~	SM	2	小学校理科生物分野での「共通性」と「多様性」の視点を取り入れた教材の検討	
2 9:35~	SM	2	海の生き物を教育現場で活用するための方策	
3 9:55~	SM	3	「言葉を根拠に文章を読む力の育成」—思考の働きを促す手立てを通して—	
4 10:15~	SM	3	日本語を読み味わい、工夫して表現する力を育成する指導に関する研究	
10:35~			休憩	
5 10:45~	SM	1	小学校算数科における自由進度学習の研究—個別最適な学びを充実する授業について—	
6 11:05~	SM	1	小学校算数科の多様な考えから問いを設定する過程に関する考察	
7 11:25~	SM	1	数学教育におけるICTの活用—中学数学「図形領域」に関する研究—	
8 11:45~	SM	3	書写授業から見える文字指導のあり方—片仮名と漢字に着目して—	
9 12:05~	SM	3	中学校国語科における対話を通して読みを深める文学教材を用いた指導法	
12:25~			昼休み	
10 13:10~	SM	4	音楽科教育における主体的・対話的で深い学びのための授業実践	
11 13:30~	SM	4	中学校体育における反転授業の実践	
12 13:50~	SM	4	J-POPを題材とした音楽づくりの活動における児童と教師の関わり-常時活動と主活動との関連に着目して-	
13 14:10~	現職	7	一人一人の居場所となる学級づくりと支援の在り方—困難感の自認と思いの言語化を目指した支援を通して—	
14:30~			休憩	
14 14:40~	現職	7	不登校児童と学級の繋がりをつくる学級経営の在り方	
15 15:00~	SM	3	主体的な態度を育む文学的文章の授業	
16 15:20~	SM	3	高等学校国語科における多様なテキストを用いたリテラシーの育成に関する研究	
16:00~			閉会行事	

プログラム欄の表記	
1	教科探究プログラム：算数・数学
2	教科探究プログラム：理科
3	教科探究プログラム：国語・英語等
4	教科探究プログラム：技術・家庭・保健体育・音楽・美術等
5	教科探究プログラム：社会
6	学校課題解決マネジメントプログラム
7	特別支援・子ども支援プログラム